

第4期 編集講座「基礎から学ぶ編集教室」第3回

第4期編集講座「基礎から学ぶ編集教室」の第3回講座が60名の参加者を迎えて7月16日(木)に開催され、(株)小学館出版局チーフプロデューサーの田中修氏が「ディレクション能力の高め方“誰に、何を、どう頼むのか”」と題して講義しました。

編集講座「基礎から学ぶ編集教室」は、編集プロダクションで働く若手・中堅社員を対象に、年9回の体系的な講座を開き、編集制作の知識や技術を習得してもらうために毎年開催されており、全カリキュラムを受講した人には協会より修了証を交付し、編集制作に関する一定の基礎知識が身についたことを認定しています。

当講座は来年3月まで行われ、毎回スポットでの受講(1講座3,500円)も受け付けています。



小学館出版局
チーフプロデューサー
田中 修氏

第1回 AJEC若手編集者懇親会

去る8月28日(金)、飯田橋のCANAL CAFEに於いて、初めての試みとなる若手編集者中心の懇親会を開催いたしました。当日は13社から33名という当初の予想を超える多くの参加者にお集まりいただき、盛会のうちに幕を閉じました。

AJECの開催する会合のほとんどは経営者の立場で参加するものですが、今回は少し趣を変え、現場編集者の情報交換を目的とした会としました。普段会うことのない個々の編集者が会社の垣根を越えた情報交換を行い、親交を深めるきっかけになりました。



<参加者アンケートより>

- 同じような立場で仕事をされている方々のお話が聞けて、大変勉強になりました。ぜひ後輩たちにも参加してほしいと思いますので、定期的に開催していただけたらと思います。
- 形式だけの集会にならず、有意義な時間を共有することができました。次回も続けていくことで、よりお互いに理解しあい、それはこの業界のみならず、一人ひとりの成長へと繋がっていくことでしょう。
- このような場に参加させていただき、誠に感謝しております。やはり人の縁だと強く感じました。

10月以降の予定は以下の通りです。

第5回 (10月29日) 売れる本づくりに向けて (拡大編集セミナーと合同開催)

- 松田 哲夫氏 (筑摩書房 顧問) 「売れる本はここがちがう」
- 森野 鉄治氏 (大日本印刷 常務取締役) 「知のプラットフォームを目指して」
- 藤田 基予氏 (小学館 取締役 女性誌編集局担当) 「雑誌不況といわれるが…」
- 福島 広司氏 (幻冬舎 執行役員・第2編集局 局長) 「思わず手にとりたくなる書籍の企画とは」

第6回 (11月19日) 読者をひきつけるタイトル、見出しのつけ方 講師未定

第7回 (1月21日) 手にとってみたくなる造本の決め手 ~表紙・デザイン 講師未定

第8回 (2月18日) 実践 編集会議1 ~企画会議の進め方から出版社へのプレゼンまで (1) 鷲尾 賢也氏 (評論家、元講談社)

第9回 (3月18日) 実践 編集会議2 ~企画会議の進め方から出版社へのプレゼンまで (2) 鷲尾 賢也氏 (評論家、元講談社)

ビジネス相談会 in 大日本印刷

7月28日(火)に「ビジネス相談会 in 大日本印刷」が開催されました。

これは当協会の賛助会員社である大日本印刷(株)の企画によるもの。大日本印刷会議室に会員社が自社制作物を展示し、それを閲覧に訪れた大日本印刷各部門の担当者との間でビジネス相談会を行うというものです。

この企画に多くの会員社が賛同し、当日は会員社18社が参加。

事前に案内を各所に掲示していただいたこともあり、大日本印刷の営業、企画部門をはじめ、印刷現場の方や映像部門など、幅広い分野の方にご来場いただき、充実した相談会となりました。



Contents

- Business Angle 1
- Information 2~3
- Activities 4

【事務局】 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-3 錦町ビル3F
TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL http://www.ajec.or.jp/

Business Angle

◆ 編集プロの現状と展望をテーマに「経営研修セミナー」を開催

日本編集制作協会は、毎年外部講師などを招き、「経営研修セミナー」(通称:経営合宿)を開催しています。今年は6月26日(金)~27日(土)に神奈川県箱根町強羅の「リゾートピア箱根」で開催され、昨年を上回る25名が参加しました。

今回のテーマは「編集プロダクションの現状と展望」。第一部では高雄事務局長をプレゼンターとして「経営白書」の報告と意見交換が行われました。「経営白書」は会員社の経営の現状を把握・分析するための定点観測資料として1988年より毎年アンケート集計によって作成されているものです。

続く第二部では「編集プロダクションの現状と展望 一般書、教材、企業出版、デジタルコンテンツの現場から」と題して、各部会から報告

が行われ、それを巡って熱い討論が繰り広げられました。

まず、一般書部会からは賛助会員社である大日本印刷(株)ソリューション推進本部の池田敬二氏が「クロスメディアの時代」と題して報告を行いました。池田氏は昨今の混迷する出版事情を詳細に分析・報告した後、これから出版事業に携わる者が注目すべきポイントは、ひとつのコンテンツを複数メディアに展開する「メディア・ミックス」という手法ではなく、「移動中は携帯電話、自宅ではパソコン」というように、一人の利用者が異なるメディアを横断する機能を持った「クロスメディア」という手法であることを指摘されました。

続いて教材部会からは、(株)カルチャー・プロの須藤靖夫氏より、「教



材の現状と展望」と題して、なかなか理解されにくい教材制作会社の業務展開の実際が報告されました。これによって教材制作という特殊な業態の理解が促進されました。

次に企業出版部会からは(株)タカオ・アソシエイツの高雄宏政氏から「企業系ツールに編集プロのビジネスチャンスを探る」と題して、一般書を中心とする編集プロダクションの可能性をさらに押し広げる「企業系ツール」への業務展開について報告がなされ、参加者からはその事業展開のノウハウについて熱心な質問が相次ぎました。

最後にデジタル部会からは(株)オフィス・サンタの鈴木あきら氏から「AJEC会員社にとってのデジタルコンテンツ その影響と上手な利用法」と題した報告が行われ、現在の会員社のホームページ運営の問題点、より効果的なホームページの活用法についての提案がありました。

第三部は、毎年、新入会員社の事業内容を紹介してもらう「事例研究」となっており、今回は(有)アラレスの工藤伸仁氏と(有)カラーズ・ファクトリーの米村邦子氏から、それぞれの会社の歴史や事業などについて説明がありました。



経営合宿恒例の「事例研究」で自社について説明する工藤伸仁氏

東京国際ブックフェアのブースで第4回「日本編集制作大賞」を選考

世界30カ国より800社が一同に出展する日本最大のブックフェア「第16回東京国際ブックフェア」が7月9日(木)～12日(日)に東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催され、日本編集制作協会が後援する「編集制作プロダクションフェア」も同時開催されました。

当協会は、1996年から東京国際ブックフェアに参加し、協会ブースで会員社がエントリーした「我が社の一冊」を展示するほか、会員ガイドや入会案内などを配布。協会ならびに会員社のPRに努めています。

また、編集プロダクション業界の理解促進と地位向上を目的に、2006年より「日本編集制作大賞」を創設。「我が社の一冊」の中から、一般書、教材、企業出版の各分野ごとに来場者に優秀な作品を選んでもらう顕彰制度を実施しています。

選考対象は、会員社が編集制作に携わった単行本、雑誌、教材、ムック、PR誌、カタログ、会社案内などで、クオリティー、スキル、ルーチンなどの面で優れた作品を各分野ごとに1点ずつ来場者に審査・投票してもらいます。選考期間は、書店、取次、出版社、学者などの業界関係者や専門家が多く来場するブックフェア前半の2日間。各分野ごとに最も投票の多かった作品に部門賞を授与。さらに各部門の応募点数を比例配分した最高得点の作品にグランプリを授与し、その功績を讃えます。

第4回目となる今年は、全部で25作品のエントリーがあり、有効投票総



「日本編集制作大賞」に木杵舎 AJEC
日本編集制作協会(入会)は七月十日、第四回日本編集制作大賞を選考した。本協会は、編集制作プロダクションフェアの開催にあたり、各分野ごとに1点ずつ来場者に審査・投票してもらいます。選考期間は、書店、取次、出版社、学者などの業界関係者や専門家が多く来場するブックフェア前半の2日間。各分野ごとに最も投票の多かった作品に部門賞を授与。さらに各部門の応募点数を比例配分した最高得点の作品にグランプリを授与し、その功績を讃えます。第4回目となる今年は、全部で25作品のエントリーがあり、有効投票総

「新文化」(2009年7月16日)新文化通信社

数は過去最高の381票に達しました。その結果、日本編集制作大賞のグランプリは(有)木杵舎が編集制作した「カラー図解 和楽器の世界」(河出書房新社刊)が受賞。そのほか、一般書部門は(株)オフィス201の「ある日 犬の国から手紙が来て」(小学館刊)、教材部門は(株)パルス・クリエイティブ・ハウスの「明解世界史図説『エスカリエ』」(帝国書院刊)、企業出版部門は(株)タカオ・アソシエイツの「バンダイキャラクターバイブル」((株)バンダイ発行)がそれぞれ受賞しました。

この「日本編集制作大賞」の受賞結果は、新文化通信社発行の「新文化」で紹介されるなど、社会的にも認知されつつあります。



東京国際ブックフェアの開会式テープカットに臨む細江弘司理事長

出版社や印刷会社のスペシャリストを講師に招き、第6回「拡大編集セミナー2009」を10月29日(木)に開催

第6回「拡大編集セミナー2009」が、「本の街・神保町を元気にする会」の後援により、10月29日(木)に東京・一ツ橋の日本教育会館で開催されます。「拡大編集セミナー」は、出版業界の第一線で活躍されているベテラン編集者や取次、書店関係者などを講師に招き、出版業界の動向や課題、編集プロダクションに対する期待などを語ってもらい、編集プロダクションの進むべき指針を探ることを目的としています。

今回は、丸善、図書館流通センター、ジュンク堂、主婦の友社を傘下に収め、大手出版3社と中古書販売ブックオフコーポレーションに出資するなど、数々の事業を積極的に推進している大日本印刷からも講師を迎え、多角的な視点で出版の未来について語ってもらいます。このため、広く会員社以外の方にも門戸を開放し、参加を呼びかけています。

拡大編集セミナー概要	
場所	日本教育会館(東京・一ツ橋)7階中会議室
参加費	会員4,000円/一般5,000円
時間	13:30~18:00 (受付開始13:00)
懇親会	18:00~(同会場9階) (会費3,000円/一般4,000円)
定員	150名
申込み	案内用チラシの申込用紙を事務局までFAXして下さい。

◆第1部 売れる本はここがちがう (13:30~14:30)

松田 哲夫氏 筑摩書房 顧問

1947年東京生まれ。東京都立大学を中退し、70年株式会社筑摩書房入社。野坂昭如氏、井上ひさし氏らの担当を務め、「逃走論」(浅田彰著)、「路上観察学入門」(赤瀬川原平ほか編)、「ちくま文学の森」(安野光雅ほか編)、「老人力」(赤瀬川原平著)、「包帯クラブ」(天童荒太著)をはじめ数々のベストセラーを生み、「ちくま文庫」「ちくまプリマー新書」を創刊する。筑摩書房専務取締役、パブリッシングリンク社長なども歴任したが、現在は筑摩書房顧問、フリーランスの編集者。TBS系テレビ「王様のブランチ」本コーナーのコメントーターを12年半務めた。著書に「編集狂時代」(本の雑誌社/新潮文庫)、「印刷に恋して」(晶文社)、「本」に恋して」(新潮社)、「王様のブランチ」のブックガイド200」(小学館)などがある。



◆第2部 知のプラットフォームを目指して (14:40~15:40)

森野 鉄治氏 大日本印刷 常務取締役

1948年生まれ。1970年大日本印刷株式会社入社。事業企画推進室長、取締役を経て、2005年常務取締役に就任。その後、事業企画推進室担当を経て、現在、教育・出版流通ソリューション本部担当。



◆第3部 雑誌不況といわれるが… (15:50~16:50)

藤田 基子氏 小学館 取締役 女性誌編集局担当

1982年株式会社小学館入社。「CanCam」編集部配属。1991年に同誌のデスクに、「Oggi」副編集長を経て、2000年に「美的」編集長に。翌2001年に「美的」編集長を務めながら、女性誌編集局プロデューサーに就任。2007年には「Oggi」編集長及び女性誌編集局チーフプロデューサーに。小学館を代表する数々の女性誌を手がける。今年5月、女性誌編集局担当、取締役に就任。



◆第4部 思わず手にとりたくなる書籍の企画とは (17:00~18:00)

福島 広司氏 幻冬舎 執行役員・第2編集局 局長

東京生まれ。早稲田大学卒業。新人当初から、水上勉氏、北杜夫氏、笹沢左保氏、遠藤周作氏、佐藤愛子氏他を担当。最良の思い出は、井伏鱒二氏のおそらく最後の原稿をいただいたこと。幻冬舎では、実用書、ビジネス書の分野を強化、平易な入門書「芽がでるシリーズ」を創刊。「雨の日のネコはとことん眠い」(加藤由子)、「自分に気づく心理学」(加藤諭三)、「恋愛論」(柴門ふみ)、「夫の宿題」(遠藤順子)、「君ならできる」(小出義雄)、「竹中式マトリクス勉強法」(竹中平蔵)、「常識として知っておきたい日本語」(柴田武)、「祇園の教訓」(岩崎峰子)、「知識ゼロからのワイン入門」(弘兼憲史)などのベストセラーを手がける。現在、幻冬舎執行役員、第2編集局局長。



※テーマは変更になることがあります。

第4回「日本編集制作大賞」受賞作品



日本編集制作大賞
「カラー図解 和楽器の世界」
(河出書房新社刊)
編集/(有)木杵舎



教材部門賞
「明解世界史図説『エスカリエ』」
(帝国書院刊)
編集/(株)パルス・クリエイティブ・ハウス



一般書部門賞
「ある日 犬の国から手紙が来て」
(小学館刊)
編集/(株)オフィス201



企業出版部門賞
「バンダイキャラクターバイブル」((株)バンダイ発行)
編集/(株)タカオ・アソシエイツ

Admission

新入会員社紹介

正 有限会社エム・エム・クリエイション

住所 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル4F
TEL/(03)3294-9451 FAX/(03)3294-9453
URL/http://www.mm-c.co.jp
代表者 代表取締役 小島 正樹 設立 1998年10月
取引先 (株)日本文芸社、(株)アサツー ディ・ケイ、京楽産業(株)など
特徴 全ジャンル対応型のコミック専門プロダクションとして、パチンコ漫画誌と女性漫画誌の制作に携わっています。また、広範な漫画家とのパイプを生かした企業広報ツールとしてのコミック展開を提供します。

準 株式会社キーステージ21

住所 〒194-0215 東京都町田市小川ヶ丘4-7-2-818
TEL/(042)779-0601 FAX/(042)779-0603
URL/http://www.keystage21.co.jp
代表者 代表取締役 大久保 正弘 設立 2009年2月9日
社員数 4名(スタッフ50名)
特徴 書籍・雑誌からウェブサイト・ソフトウェアまで、各種コンテンツの制作とシステムの開発を行っています。熟練した編集スタッフによる、理工・人文・社会、ビジネス、娯楽・スポーツなど、さまざまな領域のコンテンツ制作。ゲーム会社・通信会社出身のデザイナー、プログラマーによる精度の高いソフトウェア開発、質の高いウェブサイト制作。各種媒体のコンテンツ制作から、システム開発、プラットフォームの設定まで一貫して行うことができるのが、わが社の強みです。